

幸せに暮らせる街
松山へのHappy移住をサポート



子育ても

いい、暮らし。
まつやま



移住応援ガイドブック



🔍 松山暮らしの最新情報をWEBでチェック

松山への移住に役立つ情報を発信

いい、暮らし。まつやま

<https://matsuyama-kurashi.com>



🏠 ツアーや移住フェアの情報



🏠 移住者インタビュー



🏠 お試し住宅について



メルマガ登録のご案内



Instagramアカウント
「いい、暮らし。まつやま」



松山市子育て情報サイト
「カンガエルーカフェ」



📍 松山への移住相談はこちら

松山市では、市職員が移住コンシェルジュとして、移住希望者の方の相談に応じています。松山暮らしで気になるあれこれについて、まずはお気軽にご相談ください。移住相談窓口で、皆様のご来松をお待ちしております。また、首都圏や関西圏の移住相談窓口でも、情報提供や相談に応じています。お気軽にお問い合わせください。

【まつやま移住相談窓口】

● 松山市まちづくり推進課

愛媛県松山市二番町四丁目7-2 松山市役所本館6階
☎089-948-6095 受付時間：8時30分～17時15分(土・日・祝日はお休み)
☎089-934-1821 ✉ iju@city.matsuyama.ehime.jp

【首都圏在住の方の相談窓口】

● 松山市東京事務所

東京都千代田区平河町二丁目4-1
日本都市センター会館11階
☎03-3262-0974 受付時間：9時00分～17時45分(土・日・祝日はお休み)
☎03-3239-6996 ✉ tokyo@city.matsuyama.ehime.jp

● 愛媛ふるさと暮らし応援センター 東京窓口

東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館8階
(NPO法人ふるさと回帰支援センター内)
☎080-7749-3244 ☎03-6273-4401
受付時間：10時00分～18時00分(日・月・祝日はお休み) ✉ ehime@furusatokaiki.net

【関西圏在住の方の相談窓口】

● 愛媛ふるさと暮らし応援センター 大阪窓口

▶ 肥後橋オフィス(愛媛県大阪事務所内)
大阪府大阪市西区江戸堀1-9-1 肥後橋センタービル1階
☎0120-461-406 受付時間：9時00分～18時00分(火曜～土曜※肥後橋オフィスは土曜閉所)
✉ iju-ehime@crie.co.jp ※要予約

▶ 心斎橋オフィス((株)クリエアナブキ内)
大阪府大阪市西区新町1-4-24 大阪四ツ橋新町ビル3階



田舎のおだやかさもあれば、都会の便利さもある。
文化や歴史の楽しみもあれば、海や島の楽しみもある。
あったかい温泉もあれば、あったかい人間味もある。
松山は何かひとつだけがスゴイのではなく、いろんなよさが絶妙に、程よく混ざり合う街です。
気の向くままにいろいろ楽しみ、味わい、暮らせる街です。
そういう松山らしい、ちょうどいい豊かさ。この街に住む人、訪れる人に、もっともっと。

【発行：2023年12月】
松山市まちづくり推進課
編集：えひめリビング新聞社
WEB：アイムービック

のびのび

エリアごとの魅力をチェック!

子育てスポット



人口約50万人の松山市は四国最大の都市。子育てに便利な施設や、自然の中で思い切り遊べるスポットが各エリアに点在しています。自分の子育て&ライフスタイルにあったエリアを探して、のびのび子育てライフをスタートしませんか。

JR・郊外電車・路面電車が走る 中心部西エリア

07 松山市総合 コミュニティセンター

風土、文化を育むための施設を備える複合施設。遊具で遊べる「こども館」には、プラネタリウムもあり、のびのびと遊ばせることができる。温水プールや体育館も併設。



08 松山市立 中央図書館

松山市総合コミュニティセンター内にある図書館。松山市立図書館の核で、市内を巡回する移動図書館も行う。子ども向けコーナーや、中高生向けの「青春本棚」も。



松山市内45地区の
特徴をもっと詳しくご紹介!



山間に広がる自然豊かな場所 城東エリア

01 せとかせとろけ 瀬戸風峠

標高約210mで、松山の市街地や瀬戸内海が見渡せる絶景スポット。かつての交通の要衝で、現在はハイキングスポットとして親しまれている。夜景スポットとしても人気。



02 松山市野外活動センター (レインボーハイランド)

自然豊かな山間にある複合施設。スクールゾーン、キャンプゾーン、アドベンチャーゾーンの3つのゾーンで構成され、アスレチック遊具やキャンプ場などでのびのび遊べる。



03 こみょうがわ 五明川

松山市の水がめ・石手川ダムにそそぐ清流。ゲンジボタルが生息するほたるの里としても知られ、毎年6月中旬ごろに「ほたるまつり」が開催される。



松山ICが近くて便利 城南エリア

09 なんぶ 南部児童センター

21時まで開いていることで知られる児童センター。乳幼児が遊べる施設や、ダンスや楽器の練習ができる中高生向けの部屋など、幅広い年齢で利用することができる。



10 じょうのふち 杖ノ淵公園

名水で知られる清らかな水が湧き出る親水公園。コイが泳ぐ池を中心に、水あそび広場、遊具のある子ども広場などが整備され、市民憩いのオアシスとして親しまれている。



11 えひめこどもの城

建物自体が遊具になった「あいあい児童館」を軸に5つのゾーンで構成される。クラフトから冒険までさまざまな体験ができ、「とべもりジップライン」など大人も楽しめる施設。



賑わうエリアで便利に暮らす 中心部東エリア

04 城山公園(堀之内地区)

松山城の三之丸跡地を整備した都市公園。芝生広場では散歩や軽スポーツなど、ピクニック気分を楽しめる。愛媛県美術館や松山市民会館、愛媛県立図書館など文化施設もある。



05 愛媛県立図書館

城山公園内にある図書館。0歳から中学生を対象にした「子ども読書室」には、児童書・絵本・学習のための本など約9万冊を所蔵。乳幼児・保護者対象の「おはなし会」も開催。



06 はたでら 畑寺児童館

バスケットボールができる広い遊戯室や、授乳室を備えた幼児専用の親子ふれあい室などがある。図書コーナーには絵本からコミックまでたくさんの本が揃い、図書の貸し出しも行う。



自転車で移動できる範囲で、暮らしや子育てに必要なあらゆるものが揃う便利なエリアです

南部児童センターが近くて便利。リトミックの教室に参加してリフレッシュしています



あこがれの島暮らしなら
くつなしょとつ
忽那諸島

18 **由良公園**

市内中心部への通勤・通学も可能な興居島(ごしま)の、由良港の近くにある公園。隣には支所や公民館、図書館がある。スーパーや飲食店なども隣接し、便利。

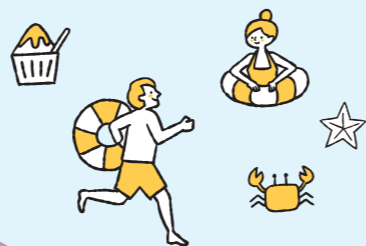


19 ひめがはま
姫ヶ浜ビーチ

中島のレジャースポット。夏はきれいな海を目当てに多くの人で賑わう。ビーチにある宿泊施設「ほしふるテラス姫ヶ浜」は、食事からキャンプ用品のレンタルまで、レジャーの拠点として便利。



松山市内45地区の
特徴をもっと詳しくご紹介!



買い物に困ることもなく、
きれいな海や大きな公園が
近くにあり、おすすめです。



中心部まで30分の海がきれいな場所
まっしよ
北条エリア

12 **風早長浜海岸**

美しい砂浜と青い海が人気の海岸。夏は海水浴客で賑わい、ビーチバレーや釣りを楽しむ人も。夕日の名所としても知られ、石畳の遊歩道の散歩もロマンティック。



13 **鹿島**

北条港沖約300mに浮かぶ小島で、渡船で約3分で渡れる。豊かな自然と美しい海が魅力で、海水浴やキャンプ、シカが生息する島内のハイキングなど、楽しみ方いろいろ。



14 **河野別府公園
(文化の森公園)**

スポーツから文化まで、幅広く利用できる総合レクリエーション施設。テニスコートやグラウンドのほか、子ども向けの遊具広場やアスレチックリムで思い切り遊べる。



空港へのアクセス良好
じょうせい
城西エリア



20 みぶ
味生児童館

未就学児童専用の「ふれあいルーム」は、おもちゃや絵本、ままごとコーナーが揃い、授乳室やおむつ交換台など施設も充実。クリスマスなど四季折々のイベントも開催。



21 **松山総合公園**

標高126mの大峰ヶ台丘陵地一帯が、自然豊かな公園として整備されている。大型遊具やドッグランのほか、ヨーロッパの城を模した展望塔からの眺めも素晴らしい。



22 **松山中央公園**

坊っちゃんスタジアムや愛媛県武道館、プールなど、スポーツに関する施設が集結した広大な公園。周辺には遊歩道やサイクリングロードが整備され、市民憩いの場でもある。



郊外型店舗が立ち並ぶ
じょうほく
城北エリア

15 **久枝児童館**

1歳未満の児童館デビューのサポートや体力増進活動など、楽しみながら子育てを支えるイベントが揃う。不要になった子ども服の物々交換など、環境に優しい子育て支援も。



16 **和気浜海岸**

夏は海水浴場として賑わう海岸で、堀江海岸と隣接。ウィンドサーフィンなどのマリンスポーツに訪れる人も多い。整備された海岸線沿いの遊歩道の散歩も気持ちよい。

17 **まつやま・ほりえ海の駅
「うみてらす」**



全国で150番目に認定された海の駅。船の一時係留に関する施設のほか、誰でも気軽に利用できる休憩所や多目的トイレもある。休憩所の屋上の展望デッキから夕日が眺められる。

車がなくても暮らしやすい、
城北エリアが気に入っています



小・中学校の転校の手続きについて

松山市では住所により就学する学校を指定していますが、指定校の変更ができる場合もありますので、転校手続き前に確認しておきましょう。

市外からの転校

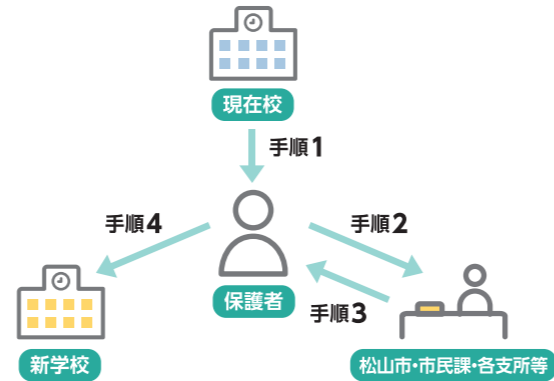
手順	内容
1	現在校から転校に係る書類を受け取る ※詳細は現在お住まいの市町教育委員会等にお問い合わせください
2	松山市の市民課又は各支所等で住民異動届を行う ※指定校の変更を希望する場合は、市民課などで異動届を行う前に、学校教育課での手続きが必要です
3	2の窓口で市外転校通知書(D票)を受け取る
4	1の転校に係る書類と3の市外転校通知書(D票)を松山市立小・中学校へ提出する



転校に関する詳しい情報はこちら



その他、学校に関する情報



TOPICS 指定校変更

※条件を満たさない場合など、指定校の変更ができない場合もあります

隣接校区選択制

市立小中学校へ入学予定の新1年生とその兄弟について、住所地の校区の学校(指定校)へ通学するよりも、隣接する学校へ通学の方が距離が短く、かつ安全性が確保できる場合は、隣接する校区の学校を選択できます。



全市域選択制

(番町小学校・八坂小学校・東雲小学校・五明小学校・立岩小学校) 公共交通機関で通学可能な市中心部の学校や、山間の自然豊かな学校などを選択することができます。



日浦小・中学校、興居島小・中学校

地域との交流や自然体験活動などを通して豊かな人間性を育成することを目的に、小中連携教育の推進や特色ある教育活動に取り組んでいます。



中島中学校

寄宿舎「青潮寮」を持つ中島中学校では、豊かな自然環境を生かした体験学習など、特色ある教育活動に取り組んでいます。



幼稚園・保育所探し

移住前に、松山での住居探しと合わせて、園や保育所を見学できると理想的。事前に申し込み個別見学できる施設もあるので、しっかりリサーチしておきましょう。徒歩、自家用車、送迎バスなど、どの手段で通園するかで、住居探しも変わってきます。



保育所等新規入園申込み

松山市内にあるエリア別の保育所、幼稚園、児童クラブなど



その他、保育園や幼稚園に関する情報



TOPICS 松山市の幼児教育・保育無償化

幼稚園、保育所、認定こども園などを利用する3歳～5歳(当年4月1日現在)のすべての子どもの入園料(※1)・保育料・預かり保育の利用料(※2)が対象。ただし、給食費(※3)、通園送迎費、行事費などは保護者負担。子ども・子育て支援新制度未移行の幼稚園については、月額2万5700円を越える分は保護者負担。認定申請の方法は事前に確認を。

	子ども・子育て支援新制度幼稚園、認定こども園(1号・幼稚園部分)		子ども・子育て支援新制度未移行幼稚園	
	教育	預かり保育	教育	預かり保育
3～5歳児クラス	対象	対象(※2) 上限月額 450円	対象	対象(※2) 上限月額 450円
市民税課税世帯の満3歳児	対象	対象外	対象	対象外
市民税非課税世帯の満3歳児	対象	対象(※2) 上限月額 450円	対象	対象(※2) 上限月額 450円

※2023年9月1日現在の情報。地域保育所などについては適用範囲が異なるため、利用施設に事前確認を。

※1 入園料が無償の対象となるのは、新制度未移行幼稚園のみ。
※2 市町から「保育の必要性の認定」が必要。申請方法は事前に確認を。
※3 所得の状況などにより、給食費のうち副食費(おかず・おやつなど)が免除されます。



幼児教育・保育の無償化について



家族みんなで楽しむ



季節のイベント Pick Up!

花火大会や季節の移ろいを感じる伝統行事は、松山暮らしの楽しみのひとつ。夏の風物詩「土曜夜市」をはじめ、子どもと一緒に出かけられる、四季折々のイベントをピックアップ。家族の思い出をより鮮やかに彩りましょう。

春 松山春まつり(お城まつり)

桜が咲き誇る松山城と、市内中心部を舞台に繰り上げられる、松山の春を代表する祭り。鎧や着物をまとった松山城主ゆかりの隊列が練り歩く「大名・武者行列」はまるで歴史絵巻のよう。野球拳全国大会や、城山公園堀之内地区で行われるステージイベントなど、賑やかな催しも開催されます。

開催日 4月上旬



松山港まつり 三津浜花火大会

三津浜港で開催される、愛媛県最大級の花火大会。ふ頭と台船から打ち上げられ、水中花火など色とりどりで多彩な花火が観客を魅了します。一斉に打ち上げられる大迫力のフィナーレは圧巻。花火の近くでゆったり鑑賞できる、有料のテーブル席や椅子席も用意されています。

開催日 8月第1土曜



松山中央商店街 土曜夜市

アーケード街の「大街道」と「銀天街」、四国で唯一の地下街「まつちかタウン」と、連なる3つの商店街で開催される夜市。屋台や出店が所狭しと軒を連ね、開催を待ちわびた子どもたちで賑わいます。お昼過ぎから始まるので、小さな子どものいるファミリーでも楽しみやすいイベントです。

開催日 6月中旬～7月下旬の毎週土曜

秋 地方祭

道後地区では、みこしの担ぎ手による「もてこい、もてこい」の掛け声と共に、激しくみこしがぶつかり合う「鉢合わせ」が有名。子どもが参加する「ちようちん行列」や子どもみこしなど、各地区ごとに伝統の祭事が行われ、市内全域が祭りムードに包まれます。

開催日 10月5日～7日(北条エリアは10月中旬)



椿まつり

「伊予路に春を呼ぶまつり」として知られる、商売繁昌・縁起開運を願う祭り。参拝や縁起物などを求め、県内外から毎年約50万人が訪れます。国道33号から伊豫豆比古命神社(椿神社)まで約1kmと、「古川はなみずき通り」から神社まで約500mの県道は通行止めになり、ずらりと並ぶ露店と参拝客で埋め尽くされます。

開催日 旧暦の1月7日～9日



妊娠・出産期

▶ 地域子育て支援拠点(地域子育て支援センター、子育てひろば、児童館) 中核市でトップクラスの多さです!

親子で遊んだり他の親子と交流したり、担当職員に相談できる場を提供しています。保育所等にある「地域子育て支援センター(18か所)」、大学や実施して、子育て中の親子(主に乳幼児)がいつでも気軽に参加できます。多くの地区にあるので、移住後のコミュニティづくりに役立ちます。

▶ 妊婦一般健康診査、新生児聴覚検査、産婦健康診査

産科医療機関等で受ける、**妊婦一般健康診査、新生児聴覚検査、産婦健康診査**(一部公費負担)を行っています。

▶ パパ・ママのための教室

赤ちゃんのお風呂の入れ方の実習、妊婦体験、座談会などを行います。

▶ 産後ケア事業

出産後12か月未満のお母さんと赤ちゃんで、産後の体調不調や育児不安があり、家族等から十分な援助を受けられない方に、助産師等が心身のケアを行います。



▶ こんにちは赤ちゃん訪問

生後4か月未満の乳児のいる**すべてのご家庭**を保健師等が訪問し、さまざまな不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供を行います。

▶ 親子歯みがき教室・歯っぴーはみがき教室

乳幼児と保護者に個別歯みがき指導や歯科健康診査・フッ化物塗布等を無料で実施しています。

▶ 離乳食講座

離乳食の進め方や作り方が学べる教室です。



▶ 愛顔っ子応援券(おむつ券)

第2子以降のお子さまが生まれた世帯に紙おむつ購入の際に利用できる「愛顔っ子応援券**5万円分**」を交付します。



▶ 小児救急医療の確保 24時間365日の小児救急医療体制を整備しています。発熱などの急な病気の場合には、夜間は松山市また、事故やケガ、入院等が必要な重症な場合にも対応できる医療体制も整備しています。

▶ 子育て短期支援(ショートステイ、トワイライトステイ) 保護者が病気やその他の理由により、家庭で児童を養育することが一時的に困難な場合や、経済的な理由により緊急一時的に母親と児童を保護することが必要な場合に、児童養護施設及び預かることができます。(事前申し込み:福祉・子育て相談窓口 ☎089-948-6413)



乳児期

▶ 幼児教育・保育の充実

就学前までの子どもたちが利用できる施設は、保育所が44か所、定こども園が48か所、小規模保育等が33施設あります。(令和5年)

▶ 保育所等入園予約

年度途中で育休から復帰予定の方を対象に、入園予約制度を導入し、住民登録がある等の条件を満たすことが必要で、入園選考があります。

▶ 乳児一般健康診査 小児科医療機関で受ける、生後3~4か月・9~10か月乳児一般健康診査(一部公費負担)を行っています。

▶ 病児・病後児保育 看護師同乗のタクシーによる送迎を実施しているところも!

保護者が就労などで、病期中の子ども(小学6年生まで)を家庭で**かり保育**を行うほか、市内2施設では保育中に体調不良となった(松山市の子どもが利用できる病児保育実施施設は、市内3か所所です。)※市内3施設はWEBでの予約が必要です。

▶ ファミリー・サポート・センター【6か月~小学6年生】

援助を受けたい方(依頼会員)と行いたい方(提供会員)が会員などのサービスの利用料を一部助成します。

▶ イクじい・ばあばママサービス【1歳~小学6年生】

イクじい・ばあばママサービス(保育施設の送迎や留守中の子守り、の育児サポートについて一部助成します。

▶ 子ども医療費助成制度

0歳から18歳到達年度の3月31日までが対象。入院・通院のいは不要です。所得制限や一部自己負担もありません。



幼児期

▶ 各施設一覧(子育てマップ)はこちら

公共施設などにある「子育てひろば(6カ所)」に加え、8つの児童館でも

▶ エアコン整備

幼稚園が27か所、認4月現在)

▶ 普通教室、保育室の設置率は100%!

保育所・幼稚園の保育室と遊戯室、小中学校の普通教室と使用頻度が高い特別教室にエアコンを設置しています。(市立全保育所・幼稚園・小中学校)

▶ 病児・病後児保育 看護師同乗のタクシーによる送迎を実施しているところも!

保育できない場合に、**病児保育実施施設で一時的な預**子どもの保育所等から施設までの送迎を行っています。と東温市、松前町の病児保育実施施設2か所、合計5か

▶ ファミリー・サポート・センター【6か月~小学6年生】

となり、保育園や児童クラブの送迎や預かり、病児・病後児の預かり**申込先** まつやファミリー・サポート・センター ☎089-945-1008

▶ イクじい・ばあばママサービス【1歳~小学6年生】

産前産後の家事の手伝いなど)のうち「送迎」または「留守中の子守り」**申込先** 松山市シルバー人材センター ☎089-933-7373

▶ 子ども医療費助成制度

医療費(保険診療による自己負担額)の窓口での支払

▶ 小児救急医療の確保

急患医療センター、休日は松山市医師会休日診療所で診療を行っています。



小中学生・高校生

▶ 児童館・児童センター【0歳~18歳】

子どもの心身を育成し情操をゆたかにすることを目的とする施設です。子どもたちが自由に来館し、友だちと楽しく遊ぶことができます。(市内8か所)

▶ 児童クラブ【小学生のみ】

保護者が就労等により昼間家庭にいない児童を対象に、適切な遊びや生活の場を提供しています。

▶ 放課後子ども教室【小学生のみ】

地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校の余裕教室や公民館で子どもの安全・安心な活動拠点を設け、学習・スポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などを実施します。**保護者の就労の有無にかかわらず**利用できます。(市内29か所)

▶ 休日子どもカレッジ

夏休みなどの長期休業中に保護者が就労などで昼間家庭にいない児童を対象に、愛媛県などと連携し「生活の場」と「体験を通じた遊び・学び」を提供しています。

▶ 小児救急医療の確保

急患医療センター、休日は松山市医師会休日診療所で診療を行っています。

▶ 子育て短期支援

となる場合や、経済的な理由により緊急一時的に母親と児童を保護することが必要な場合に、児童養護施設及び預かることができます。(事前申し込み:福祉・子育て相談窓口 ☎089-948-6413)

出産応援事業

● 出産・子育て応援金

松山市では、国の出産・子育て応援交付金を活用し、以下の支援を行っています。

- ① 妊娠や出産、子育てに関する伴走型相談支援の充実
- ② 出産・子育て応援金の給付

● 出産世帯応援事業

経済的理由で出産を諦めることがないよう、出産後に必要な育児用品や家電製品の購入費用を、新生児1人当たり上限20万円まで補助します(所得要件あり)。

● 出産世帯奨学金返還支援事業

経済的理由で出産を諦めることがないよう、出産後の奨学金返還に係る費用を、上限20万円(父母ともに奨学金の返還がある場合は最大40万円)まで補助します(所得要件あり)。

地域子育て支援拠点事業(子育てひろば)について

子育て中のお父さん・お母さんと子ども(主に乳幼児)が、いつでも気軽に参加でき、うち解けた雰囲気の中で交流する場を提供しています。

- 子育てひろば一覧
- しのめ広場たんぼぼ 松山市桑原三丁目2番1号松山東雲女子大学短期大学内
 - カタリナ子育て支援ひろばぽけっと 松山市北条660番地聖カタリナ大学内
 - 子育てひろばくーふあん 松山市安城寺町571-1
 - 子育てひろばくりっぴ 松山市南吉田町596-2
 - 子育てひろばToiToiToi 湊町7丁目5番地(松山市総合コミュニティセンターこども館1階)
 - ほっとHOTひろば 萱町六丁目30-5 松山市保健所・消防合同庁舎1階

地域子育て支援拠点事業(地域子育て支援センター)

保育所など市内に18カ所あり、未就園児とその保護者を対象に、子育て中の親子が交流したり、育児情報を交換したりしています。また、育児講座や職員による子育ての相談も受けています。

病児・病後児保育

仕事などの理由で、保護者が病期中の子どもを家庭で保育できない場合などいざという時に利用できる「病児・病後児保育事業」。病児保育施設を利用する際はWEB予約が必要です。また、利用方法や料金、定員、開所時間など実施施設ごとに異なります。

- 市内実施施設一覧
- 石丸小児科 松山市三番町六丁目5番地1 ☎089-921-2918 平日 8:30~18:00 土曜 8:30~15:00
- 天山病院 松山市天山二丁目3番30号 ☎089-946-1515 平日 8:30~19:00 ※当面の間~18:30 土曜 8:30~12:30
- 愛媛生協病院 松山市来住町1091番地1 ☎089-961-1307 平日 8:00~18:00 土曜 8:00~13:30

一時預かり事業

仕事や育児疲れなど家庭で保育ができない場合、一時的に保育をします。また、令和5年9月から、松山市と愛媛県が連携し、一時預かりを実施している一部の園で、リフレッシュ目的の専用枠を設けています。

救急医療について

● 子ども医療電話相談(#8000)

急な発熱など、子どもさんの体の具合が悪くなった時、看護師や医師などが家庭での応急対処の方法などについてアドバイスします。「救急医療へ連れて行くべきか」、「明日まで様子を見て良いのか」など判断の参考にしてください。

電話番号 固定電話プッシュ回線、携帯電話から：#8000 (ダイヤル回線など：089-913-2777)

● 利用できる時間帯(愛媛県内からの発信) 平日 19:00~翌8:00 / 土曜 13:00~翌8:00 / 日・祝 8:00~翌8:00 ※年末年始(12月29日~1月3日)8:00~翌8:00

● こどもの救急ガイドブック ~かかりつけ医がお休みのとき~ 生後1か月から6歳くらいのお子さんが、休日・夜間に急病やケガなどをした際に、「救急へ連れて行くべきか」「明日まで様子を見て良いのか」、おおよその目安が紹介されています。

児童クラブについて

仕事などで昼間保護者がいない家庭の小学生をお預かりし、遊びや生活の場を提供します。松山市内には、45の小学校区ごとに市が設置し運営を委託している124の児童クラブと、松山市に届出をしている民間事業者が設置・運営している13の民間児童クラブがあります(令和5年4月現在)。お申込みは各児童クラブにご連絡ください。

移住前はもちろん、移住後も!!

サポート制度で 快適 移住生活

補助金も充実! 本気で移住を考えるなら まつやまオーダーメイド型 移住体感ツアー

移住前に松山での暮らしを体感できる「まつやまオーダーメイド型移住体感ツアー」。1組ずつ催行される移住ツアーで、「まつやま移住コンシェルジュ」と相談しながら、日程や訪問先を自由に設定することができます。商業施設や公園など、観光で訪れるだけでは分からない、松山での暮らしを体感してみる絶好のツアーです。交通費、宿泊費などに対して補助金もあります。

- 1 ツアー申込**
Webサイト「いい、暮らし。まつやま」で、受付開始日と詳細を
発表します。ツアー希望日・参加人数・参加目的などを記載し、
申込フォームまたは、メール、郵送で申し込みます。
申込書の内容審査と抽選を行い当選者にご連絡します。
- 2 宿泊施設や交通機関の予約**
松山市までの移動手段や、宿泊施設の
手配は参加者自身が行います。
- 3 補助金を申請**
補助金の申請に必要な書類
を、ツアー希望日の14日前まで
に提出します。
- 4 ツアー行程の相談**
ツアー当日に見ておきたい場所や、体験
したいことをヒアリング。それを基に、まつや
ま移住コンシェルジュがツアーの行程を
作成します。
- 5 ツアー実施**
まつやま移住コンシェルジュがツ
アーに同行し、市内を案内します。
終了後は現地解散。
- 6 報告書を提出**
ツアー終了後30日以内に、交
通費・宿泊費などの領収書と
ともに報告書を提出します。
- 7 市から補助金の振込**
指定口座に補助金が振り込まれます。



利用条件
● 愛媛県外に在住で、松山市への移住を検討している方。
● ツアーの参加で、松山市の移住PRなどに協力いただける方。

**募集開始日
について**
募集開始は下記二次元コード「いい、暮らし。まつやま」の
トピックスでお知らせ。

募集内容と詳細はこちら。
子育て世帯向けのモデルコースもチェックできます。
※募集期間でない可能性があります



人とのつながりを広げる 移住者交流会「まつやま日和」

松山市は、移住者同士のつながりを広げるための交流会「まつやま日和」を定期的に開催しています。「職場以外で友人をつくりたい」、「移住者同士で子育ての情報交換をしたい」など、移住後のさまざまな気持ちを、移住者同士で語り合うことができます。

開催日 開催日と詳細については、下記二次元コード
「いい、暮らし。まつやま」のトピックスでお知らせ。

募集内容と詳細はこちら
※募集期間でない可能性があります



移住に関する
最新情報はこちらでチェック!
「いい、暮らし。まつやま」
トピックス



まつやまへのお引っ越しを応援!

まつやま子育て世帯 いらっしやい 事業補助金

松山市では、子育て世帯の移住を推し進めるため、移住する際の引越し費用の一部を補助する「まつやま子育て世帯いらっしやい事業補助金」を創設しました。本気で移住を考えている子育て世帯を、松山市が全力でバックアップします!

募集世帯 20世帯程度

補助対象者 【ご利用条件】(すべて満たす方がご利用いただけます)

- 愛媛県外から松山市に転入した方。
- 本人又は同一の世帯に属する方が、18歳未満の子を養育している方もしくは妊婦である方。
- 転入した後、継続して5年以上居住する意思がある方。
- 転勤等による勤務地の変更により転入した方でないこと。ただし、企業等からの命令ではなく、自己の意思により転入した場合であって、松山市を生活の本拠とし、転入前の業務をテレワークにより引き続き行う場合を除く。
- 通学の理由により転入した方でないこと。
- 松山市が実施する移住定住促進事業(移住者交流会及び移住体感ツアー等を含む。)へ協力いただける方。
- 市税を滞納している方又は暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第6号に規定する暴力団員でないこと。

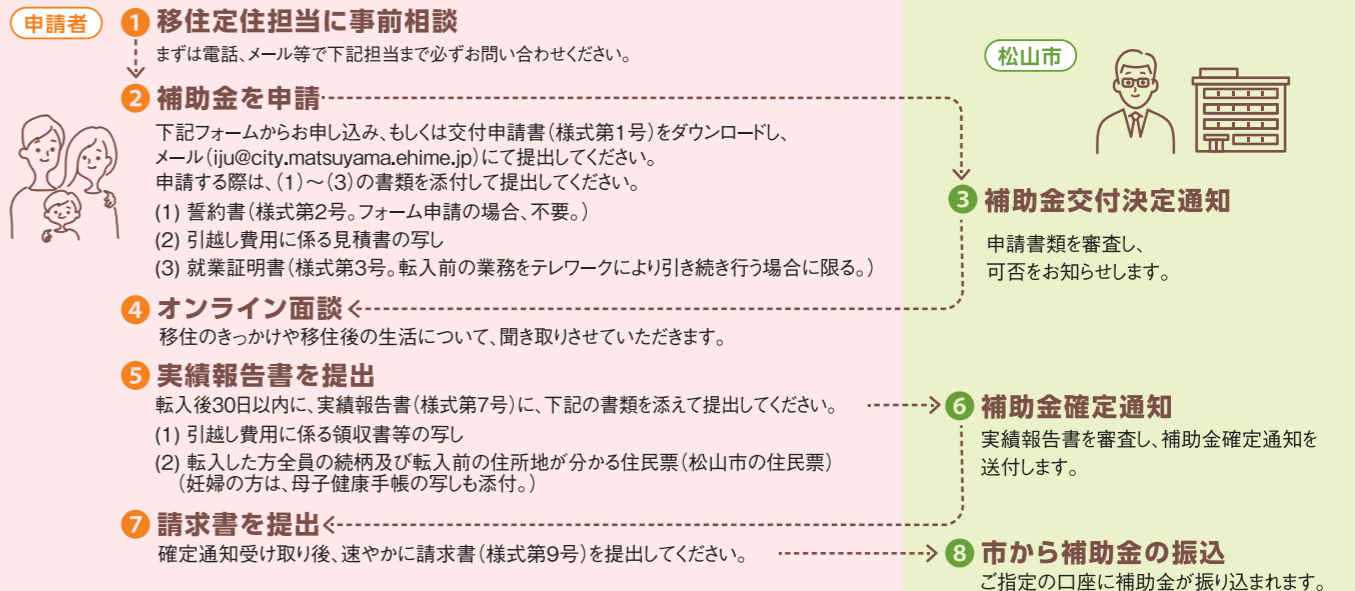
補助金額

- ① 補助対象経費に係る補助金の額は、**100,000円**を上限。
- ② 中学生以下の子を養育している方は、①の額に中学生以下の子ども1人につき**50,000円**を加算。
- ③ 妊婦の方は、①の額に胎児1人につき**50,000円**を加算。

補助対象経費

転入先までの荷物運搬費用のうち、引越し事業者への支払いに係るもの。

手続きの流れ



※転入前の申請が必要です。申請は、転入2週間前を目途に提出してください。転入前に申請がない場合には補助金を交付しません。なお、転入直前の申請で、必要書類などが充足されない場合、補助の対象とならない場合があります。
※自家用車やレンタカー等を使用して、引越した場合にかかるガソリン代や高速道路料金等に関しては、補助の対象となりません。
※補助は、予算がなくなり次第終了となります。 ※補助金の交付は、1世帯につき1回限りです。
※年度内に世帯全員が転入する必要があります。

利用しました!

申請が思ったよりも簡単にスムーズにできて、遠方からの引越したかったのでとても助かりました。始まったばかりの松山暮らしをこれから楽しんでいきたいです。

山口から松山への引越し費用をまかなえて助かりました。松山に来て半年ほどですが、子ども達に良い環境で、娘はテニス、息子はサッカーを通して行動範囲がグンと広がっています。